

# 男女共同参画推進セミナー 妻が僕を変えた日

男女共同参画週間(毎年6月23日から6月29日、主唱:内閣府)に合わせ、厚木市で男性と女性の関係をテーマにした講演会を開催しました。(参加者数101人)

## 講演内容

妻が望んでいたのは、自分の「家族サービス」ではなく、「自分育て」のサポートだった...という講師・広岡守穂先生の自らの気づきを基にした内容。普通の男性が妻を支える気持ちになるまでのエピソードをわかりやすく講演し、参加者がパートナーとの関係を見つめ直すきっかけを提供しました。

## 講演を聞いての感想

このセミナーを通して感じたことは、夫婦の間は「阿吽の呼吸」などと思わず、必要なことはキチンとお互いが言わなければならないということです。コミュニケーションを図り、相手の夢や希望をキチンと把握し、理解し、支援する、「自分育ての支え合い」が大切だと感じました。広岡先生の講演は、「目から鱗が落ちる」という感じで、もっと若い世代の夫婦にもたくさん聞いてほしいと思いました。

男女共同参画リーダー・川島



### ひろおか もりほ 広岡 守穂氏 プロフィール

1951年生まれ。中央大学法学部教授。専攻は政治学だが、現代日本の社会現象に幅広い関心を持っている。NPO型インターネット新聞 JANJAN編集委員。2005年4月より2年間、佐賀県立女性センター・アバンセ館長を兼任。内閣府男女共同参画会議委員など公職を歴任。1991年ベストメン賞受賞。

どのような間柄でも、自分の気持ちは言葉に出して伝えないと、相手にはわからない、と気づかされました。

男女共同参画リーダー・仁藤

# ご意見募集!

! **ハあモ二い編集局では、皆様のご意見をお待ちしています!**

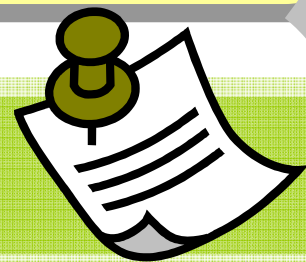
- ☆ 夫・妻・パートナーからのキチンときた一言・場面
- ★ 夫・妻・パートナーを見直した出来事
- ☆ 夫自慢・妻自慢・パートナー自慢 など

次号ハあモ二い(平成21年2月頃発行予定)では、皆様からの意見を元に、厚木市における夫婦・パートナーの関係について特集する予定です。

\*ご意見は下記までFAX・ハガキ・メールでおよせください。

## サークルを探したい人・PRしたい人

パートナーセンターでは、施設を利用されるサークル・団体の活動を支援するため、PRコーナーを設けております。ポスターなどの掲出を希望される場合は、事務室までお申し出ください。\* 掲示期間は原則3ヶ月です。



### 編集後記

先日、男女共同参画に関わる研修に参加させていただく機会がありました。研修では少子化問題についても多く触れられていましたが、今回取材をさせていただいた内田家の皆さんを見て、やっぱり家族がたくさんいるとパワフルだなあ、と感じました。(人権男女参画課 中林)

平成21年8月発行  
編集 ハあモ二い編集委員  
発行 厚木市協働安全部人権男女参画課  
厚木市中町1-4-3あつぎパートナーセンター内  
電話 (046)225-2500(直通)  
FAX (046)223-8432  
Email 2400@city.atsugi.kanagawa.jp

私たちがめざす男女共同参画社会とは、「すべての」人が尊重され、多様な生き方を選択することが可能で、家庭、地域、職場などにおいて個人の能力を十分に発揮することができる社会です。

# ハあモ二い



### 厚木市水引在住 内田家の皆さん

お揃いのキックボクシング応援Tシャツを着用しての、親子4世代・集合写真です。お住まいは別々ですが、皆さん近所なので、一家で経営する飲食店に毎日集結し、にぎやかに過ごされています。

## にぎやか親子4世代

最近核家族化や少子化が進み、一世帯当たりの人数はますます少なくなっています。写真の内田さんのように、親子4世代、毎日顔を合せ仲良く生活できるなんて、なんだか羨ましいですね!

~ にぎやか親子4世代・内田さん一家に聞きました ~

- Q1:** 家庭円満の秘訣は?  
→ **A1:** 仲良くケンカをすること・適度な距離を保つこと
- Q2:** 最近、家族みんなで一緒にやることは?  
→ **A2:** 3代目三男(雅之プロ)のキックボクシングの試合の応援
- Q3:** 家族が多くてよかったことは?  
→ **A3:** お互いに助け合って、にぎやかに楽しく過ごせること

## 今号のハあモ二いは

- ・男女共同参画地域推進講座 市内7地区終了!
- ・男女共同参画推進セミナー「広岡 守穂さん講演会」
- ・ご意見募集!
- ・PRコーナーの紹介

ああし  
よう!

講座の  
企画  
運営



公民館にて開催

こうし  
よう!

男女共同参画リーダー

男女共同参画リーダーとは?

厚木市における男女共同参画の意識を高めるための活動にご協力いただいている、28人の厚木市民のみなさんです。

# 男女共同参画 地域推進講座

「男女共同参画」。言葉で聞いたことはあるけれど、自分には関わりのない話だと感じる方が多いのではないのでしょうか?そこで、より身近なところから男女共同参画を広めていこうと企画されたのがこの講座。厚木市男女共同参画リーダーの皆様に

企画・運営から携わっていただき、平成18年度から平成20年度にわたり、市内各地区公民館を会場に開催してきました。今後も、男女共同参画社会の実現に向け、各種の事業を展開してまいります。(厚木市人権男女参画課)

市内各  
地区講座  
終了

平成19年度までに開催した講座

玉川・森の里地区 平成19年2月3日(土)森の里公民館  
「夫婦でつくる料理教室」

相川・愛甲地区 平成19年2月24日(土)相川公民館  
「男の料理と歌の夕べ~家族を招待しての食事会~」

荻野・小鮎地区 平成20年2月2日(土)小鮎公民館  
「ココロとからだ ふたりを楽しむヒント(講演会)」

睦合北・南地区 平成20年2月23日(土)睦合北公民館  
「落語でティータイム~冬の午後をHOTに過ごす~」

## 厚木・緑ヶ丘地区

### キャラ弁教室

平成21年1月24日(土)あつぎパートナーセンター

父と子のキャラクター弁当づくり教室を開催しました。父と子で力を合わせ、ご飯とおかずを上手にアレンジしてキャラクターをつくり、試食ではみなさんおいしそうに完食されていました。家庭でもお父さんの出番が多くなり「男は仕事、女は家事」という考え方から脱皮し、皆がより楽しく生活できると良いですね。

男女共同参画リーダー・瀧呂木



パートナーセンター

厚木市

## 依知北・南地区

### リンパビクス教室

平成21年1月31日(土)依知南公民館

パートナーと一緒に参加できることは何か?を目指し開催しました。当日は、寒さを吹き飛ばすほど会場一杯に、70名の方が参加してくださいました。

今回はリンパビクスや健康体操等で有名な利根川先生を講師にお迎えしました。利根川先生の個性豊かなご指導の下、「こころが動けばからだも動く」と題し、毎日の生活の中で簡単にできる、リンパの流れを良くする運動を教えてくださいました。

この日に学んだ沢山の事を生かして、健康管理に関心を持ち、男女が互いに対等な立場で思いやりを持って生きていきたいです。

男女共同参画リーダー・金子

\*リンパビクスとは?

エアロビクスにプラスして、優しいタッチで外部から身体に「圧」を加え、リンパ管を通るリンパ液の流れを良くする体操です。



## 南毛利地区

### ヨガと琵琶の演奏会

平成21年2月14日(土)南毛利公民館

第1部 近年注目のヨガの体験(内藤由紀子先生)

第2部 筑前琵琶の演奏会(藤巻旭鴻先生)

この講座は、「男性も女性も時には一緒に時間を過ごし、お互いに理解し合おう!」をテーマとし、バレンタインデーに開催しました。男性9名、女性13名の市民の方々が参加し、パートナーと一緒に時間を楽しみました。

第1部のヨガ体験では、「お互いに協力し合い良い汗が流せた」、「ゆったりと静かなひと時が過ごせた」等の感想が寄せられました。また、第2部の筑前琵琶の演奏会では、あまり耳にすることのない琵琶の音色に、日ごろの喧騒を忘れ優雅なひと時でした。また、参加者が琵琶をつまびき体験する機会もあり、あっという間の2時間でした。

男女共同参画リーダー・奥田

## コラム レディース・アンド・ジェントルメン!

外国映画で男性が女性を優しく手助けする場面をよく見かけます。一方、わが国では「夫婦」「一男一女」「善男善女」「男尊女卑」「男女共学」のように「男」が先行しているコトバが目立ちます。

男女共同参画社会をめざす運動が始まった頃、「男女」を「女男」、「父母」を「母父」と言い換えようという勇ましい声を耳にしましたが、語順を変えても「コトバ」というものは頑固で保守的なのか、「意識」「考え方」は簡単には変わりません。変えるには一人ひとりの「意識改革」「行動改革」が大切なのではないでしょうか。

男女共同参画リーダー・岩本